



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月3日

上場会社名 東ソー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4042 URL <https://www.tosoh.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栗田 守
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理室長 (氏名) 米澤 啓 (TEL) 03-5427-5123
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	794,586	18.7	58,900	△44.9	72,302	△37.1	46,314	△40.2
2022年3月期第3四半期	669,468	29.6	106,884	111.2	114,923	124.2	77,420	124.5

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 63,205百万円(△25.9%) 2022年3月期第3四半期 85,272百万円(107.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	145.52	145.46
2022年3月期第3四半期	243.32	243.18

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	1,206,799	792,139	61.1
2022年3月期	1,087,667	759,724	65.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 737,929百万円 2022年3月期 708,916百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	30.00	—	50.00	80.00
2023年3月期	—	40.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,110,000	20.8	83,000	△42.4	102,000	△36.4	66,000	△38.9	207.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期3Q	325,080,956株	2022年3月期	325,080,956株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	6,747,346株	2022年3月期	6,873,424株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期3Q	318,279,851株	2022年3月期3Q	318,181,202株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項等は、添付資料の4ページをご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算説明資料を当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 10
3. 補足情報	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年12月31日)の世界経済は、各国で新型コロナウイルス感染防止対策と経済活動の両立が進みましたが、ウクライナ問題や中国ゼロコロナ政策が長期化した中、供給面の制約や資源価格の高騰、急激なインフレ、金融引き締めなどが景気下押し要因となり、先行きが不透明な状況で推移しました。

このような情勢下、当社グループの連結業績については、売上高は、ナフサ等の原燃料価格の上昇による販売価格の上昇や円安進行により、7,946億円と前年同期に比べ1,251億円(18.7%)の増収となりました。営業利益は、ナフサや石炭等の原燃料高の影響が販売価格上昇の影響を上回ったことでの交易条件の悪化により、589億円と前年同期に比べ480億円(44.9%)の減益となりました。経常利益は、円安進行に伴う為替差益により営業外損益が改善し、723億円と前年同期に比べ426億円(37.1%)の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、463億円と前年同期に比べ311億円(40.2%)の減益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

石油化学事業

エチレン、プロピレン及びキュメンは、定修年による生産量の減少に伴い出荷が減少しました。また、ナフサ価格の上昇を反映してエチレン及びプロピレンの販売価格は上昇しました。円安の進行によりキュメンの販売価格は上昇しました。

ポリエチレン樹脂は、国内輸出ともに出荷が減少しましたが、ナフサ価格及び海外市況の上昇を反映して販売価格は上昇しました。クロロブレンゴムは、国内輸出ともに出荷が減少しましたが、需給のひっ迫や原材料価格高騰を背景に販売価格は上昇しました。

この結果、売上高は、前年同期に比べ246億円(18.2%)増加し1,600億円となりましたが、営業利益は、エチレン、プロピレン等のオレフィン製品やポリエチレン樹脂の出荷減少により、前年同期に比べ22億円(17.0%)減少し106億円となりました。

クロル・アルカリ事業

苛性ソーダは、生産量の増加に伴い出荷が増加しました。また、国内価格の是正及び海外市況の上昇により販売価格は上昇しました。塩化ビニルモノマーは、出荷が増加しましたが、海外市況下落を受けて輸出価格は下落しました。塩化ビニル樹脂は、国内外で出荷が減少しました。海外市況は下落しましたが、円安の進行や国内価格の是正等により販売価格は上昇しました。

セメントは、需要低調により国内出荷が減少しましたが、国内輸出ともに販売価格は上昇しました。

ジフェニルメタンジイソシアネート(MDI)は、生産量の増加に伴い出荷が増加しました。また、海外市況は下落しましたが、円安の進行や国内価格の是正等により販売価格は上昇しました。ヘキサメチレンジイソシアネート(HDI)系硬化剤は、出荷が減少しましたが、海外市況の上昇等により販売価格が上昇しました。

この結果、売上高は前年同期に比べ479億円(18.6%)増加し3,052億円となりましたが、営業損益は、ナフサや石炭等の原燃料価格上昇に伴う交易条件の悪化により、前年同期に比べ594億円減少し88億円の損失となりました。

機 能 商 品 事 業

エチレンアミンは、景況感悪化に伴う需要減少により出荷が減少しましたが、海外市況の上昇により販売価格は上昇しました。

計測関連商品は、液体クロマトグラフィー用充填剤の出荷が堅調に推移しました。診断関連商品は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、中国向けで体外診断用医薬品の出荷が減少しましたが、国内向けで新型コロナウイルス遺伝子検査試薬の出荷が増加しました。

ハイシリカゼオライトは、自動車用途で中国需要の減速等により出荷が減少しました。ジルコニアは、欧州向け歯科材料用途を中心に出荷が増加しました。石英ガラスは、半導体需要の拡大に伴い出荷が増加しました。電解二酸化マンガンは、米国における需給緩和の影響で出荷が減少しましたが、価格は正により国内外の販売価格は上昇しました。

この結果、売上高は、前年同期に比べ331億円（19.7%）増加し2,008億円となり、営業利益は、石英ガラス等の出荷増加、為替影響等による交易条件の改善や在庫受払差の改善により、前年同期に比べ94億円（27.7%）増加し436億円となりました。

エ ン ジ ニ ア リ ン グ 事 業

水処理エンジニアリング事業は、電子産業分野において受注した大型案件の工事が順調に推移したことや、メンテナンスなどのソリューションサービスが好調に推移したことなどから、売上高が増加しました。

建設子会社の売上高は減少しました。

この結果、売上高は前年同期に比べ152億円（18.6%）増加し967億円となり、営業利益は前年同期に比べ43億円（58.3%）増加し117億円となりました。

そ の 他 事 業

運送・倉庫、検査・分析、情報処理等その他事業の売上高は増加しました。

この結果、売上高は前年同期に比べ43億円（15.5%）増加し321億円となりましたが、営業利益は前年同期に比べ2億円（9.7%）減少し19億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、現金及び預金の減少等がありましたが、受取手形、売掛金及び契約資産、商品及び製品の増加等により、前期末に比べ1,191億円増加し1兆2,068億円となりました。

負債は、未払法人税等の減少等がありましたが、支払手形及び買掛金、短期借入金の増加等により、前期末に比べ867億円増加し4,147億円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、為替換算調整勘定の増加等により、前期末に比べ324億円増加し7,921億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期業績予想については、2022年11月1日に公表した予想値からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	161,516	119,783
受取手形、売掛金及び契約資産	259,631	306,420
商品及び製品	119,145	153,767
仕掛品	15,535	29,358
原材料及び貯蔵品	56,983	69,199
その他	30,125	42,091
貸倒引当金	△659	△725
流動資産合計	642,278	719,897
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	114,632	129,184
土地	68,599	68,319
その他（純額）	143,474	167,112
有形固定資産合計	326,706	364,616
無形固定資産	6,945	10,664
投資その他の資産		
投資有価証券	59,323	57,204
退職給付に係る資産	30,251	31,000
その他	22,940	23,866
貸倒引当金	△778	△451
投資その他の資産合計	111,737	111,620
固定資産合計	445,389	486,902
資産合計	1,087,667	1,206,799

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	113,441	131,265
短期借入金	63,662	152,688
未払法人税等	34,584	8,344
引当金	15,309	5,819
その他	42,881	52,245
流動負債合計	269,878	350,364
固定負債		
長期借入金	28,243	31,161
引当金	1,348	2,951
退職給付に係る負債	20,787	21,205
その他	7,685	8,977
固定負債合計	58,064	64,296
負債合計	327,943	414,660
純資産の部		
株主資本		
資本金	55,173	55,173
資本剰余金	45,327	44,748
利益剰余金	601,344	618,974
自己株式	△10,018	△9,834
株主資本合計	691,826	709,061
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,479	9,251
繰延ヘッジ損益	△25	△28
為替換算調整勘定	759	14,346
退職給付に係る調整累計額	5,876	5,298
その他の包括利益累計額合計	17,089	28,868
新株予約権	178	89
非支配株主持分	50,629	54,119
純資産合計	759,724	792,139
負債純資産合計	1,087,667	1,206,799

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	669,468	794,586
売上原価	469,383	629,260
売上総利益	200,085	165,325
販売費及び一般管理費	93,201	106,425
営業利益	106,884	58,900
営業外収益		
受取利息	245	471
受取配当金	1,646	1,799
為替差益	3,651	6,692
持分法による投資利益	1,730	2,013
その他	1,926	3,956
営業外収益合計	9,199	14,932
営業外費用		
支払利息	775	1,034
その他	385	495
営業外費用合計	1,160	1,529
経常利益	114,923	72,302
特別利益		
固定資産売却益	513	979
投資有価証券売却益	164	818
特別利益合計	677	1,797
特別損失		
固定資産売却損	65	29
固定資産除却損	1,436	1,666
投資有価証券売却損	1	1
投資有価証券評価損	7	137
減損損失	0	3
特別損失合計	1,511	1,837
税金等調整前四半期純利益	114,089	72,263
法人税等	33,827	22,342
四半期純利益	80,261	49,920
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,841	3,606
親会社株主に帰属する四半期純利益	77,420	46,314

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	80,261	49,920
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	552	△1,204
繰延ヘッジ損益	△0	△3
為替換算調整勘定	4,933	14,630
退職給付に係る調整額	△564	△574
持分法適用会社に対する持分相当額	89	437
その他の包括利益合計	5,010	13,284
四半期包括利益	85,272	63,205
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	81,726	58,093
非支配株主に係る四半期包括利益	3,545	5,112

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した結果を計上しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	石油化学	クロル・ アルカリ	機能商品	エンジニ アリング				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	135,316	257,222	167,681	81,485	27,762	669,468	—	669,468
セグメント間の内部 売上高又は振替高	81,991	30,384	12,770	11,722	43,705	180,573	△180,573	—
計	217,308	287,607	180,451	93,207	71,467	850,042	△180,573	669,468
セグメント利益	12,715	50,536	34,120	7,374	2,137	106,884	—	106,884

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫、検査・分析、情報処理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	石油化学	クロル・ アルカリ	機能商品	エンジニ アリング				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	159,952	305,150	200,766	96,660	32,056	794,586	—	794,586
セグメント間の内部 売上高又は振替高	114,315	43,183	18,860	20,919	47,781	245,060	△245,060	—
計	274,267	348,334	219,627	117,580	79,837	1,039,647	△245,060	794,586
セグメント利益 又は損失(△)	10,559	△8,837	43,569	11,677	1,930	58,900	—	58,900

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫、検査・分析、情報処理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

2022年度第3四半期連結決算概要

2023年2月3日

東ソー株式会社

(1)業績

(単位:億円)

	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	増 減	2021年度	2022年度(予想)
売 上 高	6,695	7,946	1,251	9,186	11,100
営 業 利 益	1,069	589	△480	1,440	830
経 常 利 益	1,149	723	△426	1,605	1,020
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益	774	463	△311	1,079	660
1株当たり四半期(当期)純利益	243円32銭	145円52銭	△97円80銭	339円23銭	207円36銭

(2)指標

	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	増 減	2021年度	2022年度(予想)
為替[TTM期中平均](円/\$)	111.1	136.5	25.4	112.4	138.0
為替[TTM期中平均](円/EUR)	130.6	140.6	10.0	130.6	139.4
国産ナフサ価格(円/KL)	53,967	79,833	25,867	56,625	75,825

(3)事業セグメント別増減内訳

(単位:億円)

		2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	増 減	増 減 要 因			
					数量差	価格差	交易条件	固定費差他
石油化学	売上高	1,353	1,600	246	△192	438	-	-
	営業利益	127	106	△22	△19	-	0	△2
クロル・アルカリ	売上高	2,572	3,052	479	△45	524	-	-
	営業利益	505	△88	△594	23	-	△544	△73
機能商品	売上高	1,677	2,008	331	△14	344	-	-
	営業利益	341	436	94	12	-	67	15
エンジニアリング	売上高	815	967	152	109	43	-	-
	営業利益	74	117	43	43	-	0	0
その他	売上高	278	321	43	4	39	-	-
	営業利益	21	19	△2	△2	-	0	0
合 計	売上高	6,695	7,946	1,251	△137	1,389	-	-
	営業利益	1,069	589	△480	58	-	△477	△60

(注)億円未満は四捨五入